



村議会議員一般選挙後はじめて招集された臨時会

## 主な内容

第1回臨時会を開催	2～3
3月定例会の結果	4～8
村政ここがききたい(一般質問)	9～11
議会のうごきほか	12



オリエンテーションのようす

## 新人議員オリエンテーション

## 24年度事業・予算を研修

### 新人議員5名が受講

4/25

3月の村議会議員一般選挙で当選した新人議員5名へのオリエンテーションが行われました。午前10時から午後5時まで行われ、午前中は主に議会に関することについて、午後からは役場各課から24年度の主な事業と予算についての説明を受けました。



三瓶 力 議員



森 清重 議員

## 自治功労者表彰 森、三瓶両議員が受賞

2/23

全国町村議会議長会

福島県町村議会議長会定期総会で森清重議員と三瓶力議員に全国町村議会議長会から自治功労者として表彰されました。  
なお、表彰状の伝達は、3月定例会の際に行われ、須藤議長からそれぞれ表彰状が授与されました。両議員ともに先の一般選挙で当選して5期目に入り、今後ますますの活躍が期待されております。

## 議会のうごき



### 2月

- 8日 石川地方町村議会事務局長会議(石川町)
- 20日 一般質問通告締切
- 27日 議会運営委員会
- 29日 公立岩瀬病院企業団議会臨時会(須賀川市)  
石川地方生活環境施設組合定例会(石川町)

### 3月

- 2日 3月定例会開会(議場)  
総務産業建設常任委員会(議会議室)
- 7日 全員協議会(議員会議室)
- 8日 3月定例会閉会(議場)

### 4月

- 4日 平成24年第1回臨時会(議場)
- 6日 村内小中学校入学式
- 10日 石川地方町村議会議長会(石川町)
- 18日 福島空港活性化推進協議会監査(議長室)
- 25日 新人議員オリエンテーション(議会議室)  
福島空港活性化推進協議会総会(須賀川市)

## あ と が き

例年になく寒さ厳しい冬を耐え、百花繚乱、日本が一番美しい季節である。  
去る4月21日の新聞紙面の請戸川の桜並木の風景は人影もなくひっそりと寂しい感じが致してなりません。震災以前の春であつたらさぞ美しく咲き誇り、人々を魅了させたことでしょう。地震原発で故郷を追われ不自由な生活を強いられ、帰るも叶わない人々の事を思うと万感胸にせまる思いであります。  
未曾有の震災は日本国民が律儀で勤勉、行儀良く、礼節を尊ぶ冠たる民族である事を世界に知らしめる事になりました。新生東北、早い復旧、復興を願ってやみません。  
春は入学、入社と希望に胸をおどらせて出て行く季節で事の始まる時でもあります。新人議員も期待を背負って出立致し、責務の重さに身のやせる思いで村政、議員としての事等学んで参りますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願いたします。(小林徳清)



玉川村議会 平成 24 年

第 1 回 臨 時 会

平成23年度玉川村一般会計補正予算(第9号)

専決処分の承認

国・県支出金や地方交付税等の一部に未確定だったものが、年度末に確定したため専決処分したものである。

補正の主なもの、歳入で村税を675万8千円、地方譲与税508万円、地方交付税で3870万9千円、国庫支出金で2208万5千円を増額し、県支出金を3667万4千円を減額した。

歳出で総務費の財政調整積立金に3000万円、民生費で415万3千円を増額したものである。

(起立全員)



鯉のぼり作りをするいずみ幼稚園の園児

平成23年度玉川村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

保険税の収納実績、国・県支出金の確定により所要額を補正したものである。

歳入の主なもの、国庫支出金で2274万7千円、県

今回の臨時会では、主に議長及び副議長の選挙と各委員会委員などを選任する議会構成のほかに、専決処分の報告と承認、人事案件が審議されました。

その内容、結果については、次のとおりです。

平成23年度玉川村上水道事業会計補正予算(第5号)

資本的収入総額を2億9380万円とし、資本的支出総額を4億3820万2千円としたものである。

平成23年度玉川村介護保険特別会計補正予算(第4号)

給付費に不足が生じたため所要額を補正したものである。

歳入の国庫支出金を1067万5千円増額し、歳出の保険給付費で1067万5千円増額した。

支出金で464万9千円を減額し、保険税で684万4千円、繰入金で400万円を追加したものである。

歳出の主なもの、予備費で1234万2千円、保健事業費で147万円、諸支出金で131万9千円、保険給付費で119万円減額したものである。

人事案件

玉川村監査委員の任期満了に伴って、後任の監査委員として大和田宏さんを選任することについての同意を求めるものである。

(起立全員)



泉中学校校庭の除染作業

須藤議長、森副議長再選

議会構成決まる

総務産業建設委員長に 田 子氏  
文教厚生委員長に 大和田氏

平成24年第1回臨時会は、4月4日午前10時から本会議場で開かれました。議長選挙では須藤利夫議員(3期)が再選され、また、副議長も森清重議員(5期)が再選されました。

なお、常任委員会は、総務産業建設常任委員長に田子武幸議員(4期)、文教厚生常任委員長に大和田宏議員(2期)が選任されました。



森 清 重 副議長



須 藤 利 夫 議長

議会運営委員会の委員長には西川良英議員(4期)が選任されました。

また、石川地方生活環境施設組合議会議員3名と須賀川地方広域消防組合議会議員1名の選挙も行われました。

議会構成が決まり、6月定例会からの新たな議事機関としての任務が始まります。二元代表制の一翼を担う議会の審議議決と執行機関への監視評価への村民の期待が高まります。

なお、詳しい議会構成は次のとおりです。



文教厚生常任委員会委員の皆さん



総務産業建設常任委員会委員の皆さん

◆各委員会の構成

《総務産業建設常任委員会》

委員長 田子武幸  
副委員長 飯島三郎  
委員 須藤利夫

鈴木忠雄  
塩澤重男  
渡邊一雄

《文教厚生常任委員会》

委員長 大和田宏  
副委員長 車田悦夫  
委員 森清重

三瓶清英  
西川良英  
小林徳清

《議会運営委員会》

委員長 西川良英  
副委員長 田子武幸  
委員 大和田宏

飯島三郎  
塩澤重男  
鈴木忠雄

◆各組合議会議員

《石川地方生活環境施設組合議会議員》

鈴木忠雄  
小林徳清  
渡邊一雄

《須賀川地方広域消防組合議会議員》

三瓶 力



## 玉川村議会

## 3月定例会

## あ ら ま し

玉川村議会3月定例会は、3月2日から8日までの7日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、専決処分に関するものが3件、条例の制定や改正等が6件、組合規約の変更が2件、補正予算が5件、平成24年度当初予算7件の審議を行い、全て原案どおり可決しました。また、一般質問では3名の議員が登壇して、村執行機関の考えを質しました。



石森 春男 村長

## 村長施政方針

「大災害復興初年」と位置づけ  
行政運営に当たる

3月定例会の冒頭、村長から平成24年度における施政方針について、基本的な考えと行政運営の方針が述べられました。その内容の要旨については次のとおりです。

昨年は、東日本大震災とそれに伴う東京電力福島第一原子力発電所事故による被害、さらに台風15号豪雨による阿武隈川堤防の破堤により、村内においても歴史に残る被害をこうむりました。

平成24年度は「大災害復興

初年」と位置づけ、復旧・復興等の山積する課題の解決に向けて積極的な取り組みを行うとともに行政運営に当たって参ります。

本村の平成24年度的一般会計の当初予算総額は33億円規模となります。

の耐震補強計画を進めます。

次に、ともに支え合い生き生きと暮らせる村づくりとしては、これまでどおり子育て支援、障害者福祉、高齢者福祉、健康づくり事業を進めてまいります。また、国民健康保険事業、介護保険事業につきましても保険料の適正な設定と収納率の向上に努めてまいります。

税務関係では、税は行政運営のための重要な財源であります。滞納額が増え、未収金の回収が重要な課題となっており、より一層滞納整理に取り組んでまいります。

次に、環境に優しく快適で安心して暮らせる村づくりであります。が、ゴミ処理対策については、分別ごみ収集の徹底を図るとともに引き続き東日本大震災等の瓦礫の搬入を受付けいたします。

道路整備としまして社会資本整備総合交付金事業で3路線、地方特定道路整備事業で1路線の整備計画をしております。また、大震災や台風で被災した土木施設や農業施設

会に報告し、承認を求めた。

(起立全員)

## 東日本大震災による被災者に対する村民税等の減免に関する条例の一部を改正する条例

東日本大震災で被災したことによって建物等を取り壊した場合、固定資産税を全額免除する条例改正の専決処分を行ったため地方自治法第179条第3項の規定により議会に報告をし、承認を求めた。

(起立全員)

## 条例の制定・改正

## 玉川村震災復興支援事業基金条例の制定

県より交付された福島県市町村復興支援交付金を原資として、本村における東日本大震災からの復旧復興事業に資する費用に充てることを目的として、地方自治法第241条第1項の規定に基づき、基

## 専決処分の報告

## 福島県市町村総合事務組合の規約変更

福島県市町村総合事務組合の構成団体に変更があり、規約変更のための協議が組合からあったので、議会から委任されている専決処分をした。ついては、地方自治法第180条第2項の規定により報告された。

## 専決処分の承認

## 玉川村個人情報保護条例の一部を改正する条例

個人情報報の外部提供の制限に対する例外として、国、他の地方公共団体若しくは、その他の機関を加える条例改正の専決処分を行ったため、議

について地震災88ヶ所、台風15号災で10ヶ所の単独災害復旧事業を引き続き進めてまいります。

次に、魅力的で活力に満ちた村づくりですが、風評に負けない安全・安心な農業振興や商工業など産業の振興に努めます。T P P問題については、特に農業は壊滅的打撃を受け、食糧自給率は大幅に落ち込むと考えられるので、関係機関との連携を密にして参加阻止に向けた姿勢で臨みます。農地・水・環境保全管理

支交付付金事業は、平成23年度をもって第1期5カ年事業が終了し、平成24年度を初年度として、新たな5カ年事業がスタートします。

また、商工業の振興を図るため商工会と連携を密にして商工会運営の助成支援をしてまいります。

次に、特色ある教育の振興による人づくりですが、人づくりは地域づくり村づくりの基本であり、基礎学力の向上や生涯学習の推進、教育環境の整備を図ってまいります。

※関連する予算については、8頁に掲載してあります。



村民税及び固定資産税について、全期前納された場合に交付される報償金の支給率を引き下げる改正を行うものである。

## 玉川村税条例の一部を改正する条例

(起立全員)

## 玉川村国民健康保険条例の一部を改正する条例

(起立全員)

玉川村子ども医療費助成に関する規則の一部改正に伴い

次ページへつづく



一部負担金の支払いを要しないこどもの年齢区分を「15歳」から「18歳」に改めるものである。  
(起立多数)

玉川村介護保険条例の一部を改正する条例

3年ごとにサービスマン見込み量の見直しを行い、平成24年度から平成26年度までの第5期事業期間の保険料を改正するものである。  
(起立全員)

玉川村体育施設条例の一部を改正する条例

スポーツ基本法の施行に伴



カローリングを楽しむ皆さん

「体育指導員」から「スポーツ推進委員」への名称変更となり改正するものである。  
(起立全員)

組合規約の変更

須賀川地方広域消防組合規約の変更

構成市町村における情報の共有確保と迅速な意思決定を図るとともに、組合設立時からの社会情勢の変化を踏まえ、より適切な組織体制にするため、組合議員の定数の変更並びに執行機関の組織の変更を行うものである。  
(起立全員)

石川地方生活環境施設組合規約の変更

し尿処理とごみ処理に係る分賦率については、人口割と実績割で算定されているが、その数値に変更が生じるため規約の改正を行うものである。  
(起立多数)

補正予算

平成23年度玉川村一般会計補正予算(第8号)

県より交付された福島県市町村復興支援金、東日本大震災の災害復旧事業の地方負担分に充てるため、地方交付税で設けられた特例による震災復興特別交付税、除染事業に

表1 一般会計補正予算の主なもの (単位:千円)			
区分	款	補正額	備考
歳入	村 債 入 金	△ 166,700	公共土木災害復旧事業債ほか
	繰 入 金	△ 58,500	財政調整積立金繰入金ほか
	県 支 出 金	355,404	県市町村復興支援金ほか
	地方交付税	257,660	災害復興特別交付税ほか
歳出	災害復旧費	△ 48,027	農業用施設災害復旧工事ほか
	民 生 費	△ 40,616	子ども手当ほか
	諸 支 出 金	327,919	震災復興支援事業基金積立金ほか
	農林水産業費	62,649	農業系廃棄物処理事業委託料ほか
	衛 生 費	41,728	除染対策工事ほか

係る経費及び各種事業の精算にかかわるものを主とするもので、歳入歳出それぞれ3億6500万円を増額し、予算総額を43億2149万6千円とするものである。  
なお、補正の主なものは、上の表1のとおりである。  
(起立全員)

平成23年度玉川村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

保険給付費の増額および補助金等の確定によるもので、歳入歳出それぞれ2374万



グラウンドゴルフを楽しむ皆さん

3千円を増額し、予算総額を8億6557万4千円とするものである。  
なお、補正の主なものは、左の表2のとおりである。  
(起立全員)

表2 国民健康保険特別会計補正の主なもの (単位:千円)			
区分	款	補正額	備考
歳入	共同事業交付金	16,416	高額医療費共同事業負担金ほか
	繰 入 金	4,282	保険基盤安定繰入金ほか
	諸 収 入	2,079	老人保健拠出金還付金ほか
歳出	保 険 給 付 費	23,681	療養給付費、療養費
	共同事業拠出金	2,593	保険財政共同安定化医療拠出金
	予 備 費	△ 2,531	予備費

平成23年度玉川村介護保険特別会計補正予算(第3号)

東日本大震災、台風15号による被災者の保険料の減免と

介護保険法改正に伴うシステム改修費などで歳入歳出それぞれ181万7千円を追加し予算総額を3億6152万4千円とするものである。  
(起立全員)

平成23年度玉川村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出からそれぞれ106万円減額し、予算総額を4342万2千円とするものである。  
(起立全員)

平成23年度玉川村上水道事業会計補正予算(第4号)

収益的収入及び支出を、それぞれ300万円減額し、総額を1億8208万4千円とするものである。  
収益的収入は、給水収益を300万円減額し、他会計補助金を50万円増額するものである。

一方、支出は、原水及び浄水費を100万円減額し、消

費税及び地方消費税で200万円をそれぞれ減額するものである。

また、資本的収入及び支出についての補正は、資本的収入は、企業債を2350万円国庫補助金を1767万8千円、一般会計補助金を633万円それぞれ減額するものである。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額1億5240万9千円は、過年度分損益勘定留保資金1億5140万9千円及び当年区分消費税資本的収支調整額100万円で補てんする。  
(起立全員)

当初予算

平成24年度当初予算として、一般会計と5つの特別会計、上水道事業会計の予算案が執行部より提案された。

審議の結果、一般会計予算と国保特別会計予算については起立多数で、その他の会計については全て起立全員で可決された。(8ページに掲載)

請願

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出について

請願者

日本労働組合総連合会福島県連合会  
石川地区連合会  
議長 高宮 清さん

紹介議員

三瓶 力議員

【請願の趣旨】

①福島県の最低賃金を「雇用戦略会議」における政労使合意内容に沿った引上げを図ること。

②一般労働者の賃金引上げが4月であることから福島県最低賃金の改定諮問を早期に行い発効日を早めること。

以上の2点について、政府関係機関並びに福島労働局長に意見書の提出を願う。

【審議の結果】

総務産業建設常任委員会に付託されて審議したところ、

陳情

森林に対する固定資産税の免税措置について

陳情者

ふくしま中央森林組合  
代表理事組合長 渡邊一夫さん

【陳情の趣旨】

林業では、しいたけ原木をはじめ薪などの出荷自粛、立木・パルプ材は風評被害によって極端な流通の減少を余儀



森林も放射性物質で汚染

意見書(議員発議)

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書について、議員発議で本会議に提案され、全会一致で可決された。意見書は、内閣総理大臣と厚生労働大臣、福島労働局長あてに提出された。



玉川村議会3月定例会

村政

ここがききたい

村の答えは？

Q

阿武隈川の大洪水は浜田用水の堰が原因では？

A

過去の水害の際も堰の改修要望をしております

問

阿武隈川が増水する要因として、乙字ヶ滝のころの浜田用水の堰が原因だと思ふ。

答

あの堰は昭和30年代頃に閉式になるよう改修されたと聴いているが、これまでに水門が開閉したところは今までに無かったと思ふ。  
あの水門は農業用又は電力用として構築されたものであると思うが、今後、上流部で越水するような時には水門を開けるような運用が必要であると思うが、村として関係機関及び関係者にそのような働きかけをしてゆく考えがあるのかを伺いたい。

問

また、長い期間、水門が閉じられたままであったために水門から上流の玉城橋までの間には、多くの土砂など堆積物が溜まっていると思われる。河床が高くなれば、当然に容積量は低下する。最近のゲリラ豪雨などのように想定外の雨量ができれば、川は氾濫しやすいくなる。堤防の嵩上げにも限界があると管理者が言うのであれば、河床の堆積物の除去を国や県に働きかけてゆく考えがあるのかを伺いたい。

答

さらに12月定例会の村長答弁の中で阿武隈川流域対策協議会が結成されるとのことであつたので、その協議会の中でも今後、水門の運用面や河床の堆積物の除去について協議してゆく考えはあるのかどうかを伺いたい。  
昭和61年の8・5水害と平成10年8月末の水害においても大きな被害を受けました。  
平成11年に鏡石町と玉川村の連名で須賀川市長へ堰を自動開閉機に改修するよう要望書を提出しています。浜田用水は今も灌漑用水として250ヘクタールを賄ひ、また発電用として東北電力が使用中であります。須賀川市が管理をしておりますので今後も改善要望を進めていきたいと考えております。  
次に河床の堆積物の除去であります。濱田堰に關係しているものであれば、当然、働きかけをしていかなければならないと考えております。  
三つ目の阿武隈川上流浸水

問

対策連絡協議会で協議をしてゆくのかとのお尋ねであります。矢吹町、鏡石町、玉川村そして国、県の関係機関で11月22日に設立されました。この協議会は、今後の阿武隈川の円滑な河川整備に役立てていくために協議が行われます。洪水による災害発生要因となるものは早急な対策が必要でありますので、協議会の中にも意見を述べていきたいと考えております。

答

きかけ、また運用面を考えているようであるが、率直に申し上げると、雨が降るたびに住民に心配を掛けることにならないように進めてほしいと思つていますが、村長の考えを伺いたい。  
当然、二度とこのように村としても、管理する県や国に対してそのような旨を伝えており、今後、協議会の中でも災害を防ぐ手立てを是非お願いしたいと強く要望してまいりたいと考えております。

平成24年 5月17日

議会だより

(8)

平成 24 年度 一般会計予算  
予算総額は 33 億円

●歳入 (単位：千円)				●歳出 (単位：千円)			
款	24年度当初	23年度当初	増減額	款	24年度当初	23年度当初	増減額
1 村 税	699,124	700,483	△ 1,359	1 議 会 費	78,713	91,608	△ 12,895
2 地 方 譲 与 税	50,784	51,236	△ 452	2 総 務 費	403,034	394,250	8,784
3 利 子 割 交 付 金	1,375	1,729	△ 354	3 民 生 費	682,829	708,821	△ 25,992
4 配 当 割 交 付 金	357	254	103	4 衛 生 費	461,380	436,820	24,560
5 株式等譲渡所得割交付金	89	120	△ 31	5 労 働 費	105	85	20
6 地方消費税交付金	62,777	61,806	971	6 農 林 水 産 業 費	231,267	245,298	△ 14,031
7 自動車取得税交付金	9,583	8,603	980	7 商 工 費	69,022	44,039	24,983
8 地方特例交付金	1,972	10,424	△ 8,452	8 土 木 費	205,353	178,573	26,780
9 地 方 交 付 税	1,424,900	1,374,000	50,900	9 消 防 費	149,169	151,121	△ 1,952
10 交通安全対策特別交付金	1,364	1,395	△ 31	10 教 育 費	343,614	305,595	38,019
11 分担金及び負担金	22,685	22,616	69	11 災 害 復 旧 費	13,356	4	13,352
12 使用料及び手数料	67,891	66,855	1,036	12 公 債 費	480,276	504,165	△ 23,889
13 国 庫 支 出 金	180,494	222,219	△ 41,725	13 諸 支 出 金	177,549	35,074	142,475
14 県 支 出 金	273,983	187,389	86,594	14 予 備 費	4,333	4,547	△ 214
15 財 産 収 入	5,715	5,638	77	歳出合計	3,300,000	3,100,000	200,000
16 寄 付 金	3	2	1				
17 繰 入 金	182,802	36,906	145,896				
18 繰 越 金	30,000	30,000	0				
19 諸 収 入	61,702	52,925	8,777				
20 村 債	222,400	265,400	△ 43,000				
歳入合計	3,300,000	3,100,000	200,000				

平成 24 年度 主な新規事業等 (単位：千円)				平成 24 年度 特別会計・上水道事業会計予算 (単位：千円)				
事 業 名	金 額			会計区分	24年度予算	23年度予算	増減額	
川辺小学校耐震補強計画策定	3,681			国民健康保険特別会計	818,227	810,780	7,447	
玉一小プール改修工事	1,707			介護保険特別会計	374,798	352,168	22,630	
須釜中学校舎内部塗装工事	1,386			後期高齢者医療特別会計	46,100	44,280	1,820	
就業改善センター耐震補強計画策定	2,828			農業集落排水事業特別会計	140,465	118,749	21,716	
文化講演会	1,742			簡易水道事業特別会計	19,345	21,424	△ 2,079	
工業団地等公園管理委託事業（緊急雇用）	2,139			上水道事業	収 益 的	190,159	184,225	5,934
緑の駅運営事業委託料（緊急雇用）	16,327				資 本 的	191,338	416,984	△ 225,646
地域防災計画策定業務	3,675				計	381,497	601,209	△ 219,712
防災行政無線中継局舎更新工事	5,600			合 計	1,780,432	1,948,610	△ 168,178	
保育所給食調理業務委託	5,921							
子どものための手当	107,100							
福島空港開港 20 周年記念事業	12,264							
空き家バンク整備委託	1,600							





溝井 丈樹議員

Q 村有財産の売却や転用は今後どのように進められていくのか

A 物件を特定した相談があれば検討したいと考えております

問 昨年の8月、岩法寺に所在する体育館の駐車場の一部約826坪が事業所用地として売却され(約1150万円)、現在、建屋の完成に向けて工事が進められております。また、同年12月には旧竜崎住宅跡地約670坪が一般競争入札により宅地の分譲予定地として民間の不動産業者へ売却されました(1120万円)。

将来に亘り用途のない村有財産が事業所の立地なり宅地なりとして売却されることは村の財政にとっても有用であり、また、その波及効果に寄せる期待も大きいのですが、

アップがなされ、売却や転用が進められていくのでしょうか。

① 岩法寺の土地について、インフラや税制面で村が配慮・優遇した事案があればご披露願います。

② 竜崎の土地は入札のための参加資格として「石川郡内において事務所等を有しており」と条件が付いておりましたが、近接する自治体の業者が除外された理由とは何だったのでしょうか。

③ 玉川村が保有する土地や建物で当面利活用の計画や用途の無い物件はどれくらいあり、またそれらは売却・

転用に向けて整理やリストアップがされているのでしょうか。

④ 昨年来より行政区長へ呼びかけをしていた宅地開発の可能性、情報の収集についてはその後どのように取りまとめや検証が行われ、事業化へ向けた計画が立てられているのでしょうか。また、その中には村が保有する財産が相乗的に効果を上げるような関わり方は期待できるので

ます。村保有財産との相乗効果については、各地区の意見もお聞きしながら今後検討して参りたいと思います。

再質問

① 岩法寺の事業所建設に際しての水道管布設工事は、村の好意としての作業ではなく、義務としての工事であるという事でよろしいでしょうか。

② 竜崎の土地の売却に関

③ 玉川村が保有する土地や建物で当面利活用の計画や用途の無い物件はどれくらいあり、またそれらは売却・

④ 昨年来より行政区長へ呼びかけをしていた宅地開発の可能性、情報の収集についてはその後どのように取りまとめや検証が行われ、事業化へ向けた計画が立てられているのでしょうか。また、その中には村が保有する財産が相乗的に効果を上げるような関わり方は期待できるので



大和田 宏議員

Q 廃用牛の移動規制に対する対応は

A 関係機関と連携をとりながら国・県などに働きかけをしてゆきます

問 東電の原発事故により、畜産農家は肥育牛の出荷規制や廃用牛の移動規制そして風評被害等で、子牛の価格は少しは持ち直したものの先行き不安を抱いております。特に繁殖期を過ぎた和牛繁殖雌牛の出荷が滞っており、繁殖牛を更新できない上に、飼料代など管理経費が掛かり農家経営を圧迫しているのが現状であります。こうした状況下を打開するために、村としては現状をどう把握し今後どのように対策を講じていく考えか伺います。

答 繁殖期を過ぎた老廃牛の移動規制に対する対応のご質問であります。現在、廃用牛につきましては、出荷が出来ずにおり、買い直します。また、廃用牛の多くは屠畜するために粗飼料の暫定許容値1kg当たり300ベクレル以下の粗飼料で1年程度飼育する必要があります。国では平成24年4月より粗

飼料の暫定許容値を1kgあたり100ベクレル以下に引き下げ、農家ではこのような対策がいつまで続くのか先行きが見えない中、今後の粗飼料の確保などが懸念される点で、心配しているところであり、

① 岩法寺の土地について、インフラや税制面で村が配慮・優遇した事案があればご披露願います。

② 竜崎の土地は入札のための参加資格として「石川郡内において事務所等を有しており」と条件が付いておりましたが、近接する自治体の業者が除外された理由とは何だったのでしょうか。

「村政」がききたい」で取り上げた一般質問のほかに次の質問も行われました。質問の要旨のみを紹介いたします。

添田 四郎議員

【震災による通行止め箇所について】 東日本大震災により通行止めになっている小高から川辺に通じる村道と乙字ヶ滝の旧国道の橋について、どのような対応をしているのか。

溝井 丈樹議員

【復興関連施策について】 村長は、年頭の挨拶で「復旧復興に向けて」と語っていたが、村では国の第3次補正予算の事業に対して何を求め、何を実行しようと考えているのか。

【事務の停滞について】 昨年の10月に公益通報を促した様式で、ある職員の倫理感を問う通報(書類)が役場窓口へ提出されたが、未だに通報者に教示等が行われていない様子である。

【一般質問等のその後について】 私が行った昨年3月議会以降の一般質問等について、その後の取り組み、成果等を尋ねる。8点ある。

大和田 宏議員

【転作の実施状況と24年度の方針について】 23年度の転作状況はどうだったのか。また、戸別補償制度による所得補償交付金等の振込作業はどのようにされたのか。24年度産米の作付け及び補償制度の活用をどのように考えているのか。

【台風被害を受けたパイプハウスの復旧状況について】 経費の面で国県の補助を期待しているところだ。被害の状況と復旧の進捗状況及び経費の負担はどのようになっているのか。